

# 2023年度 第1四半期 決算概要

2023年8月10日

沖電気工業株式会社

# 2023年度 第1四半期決算の概要

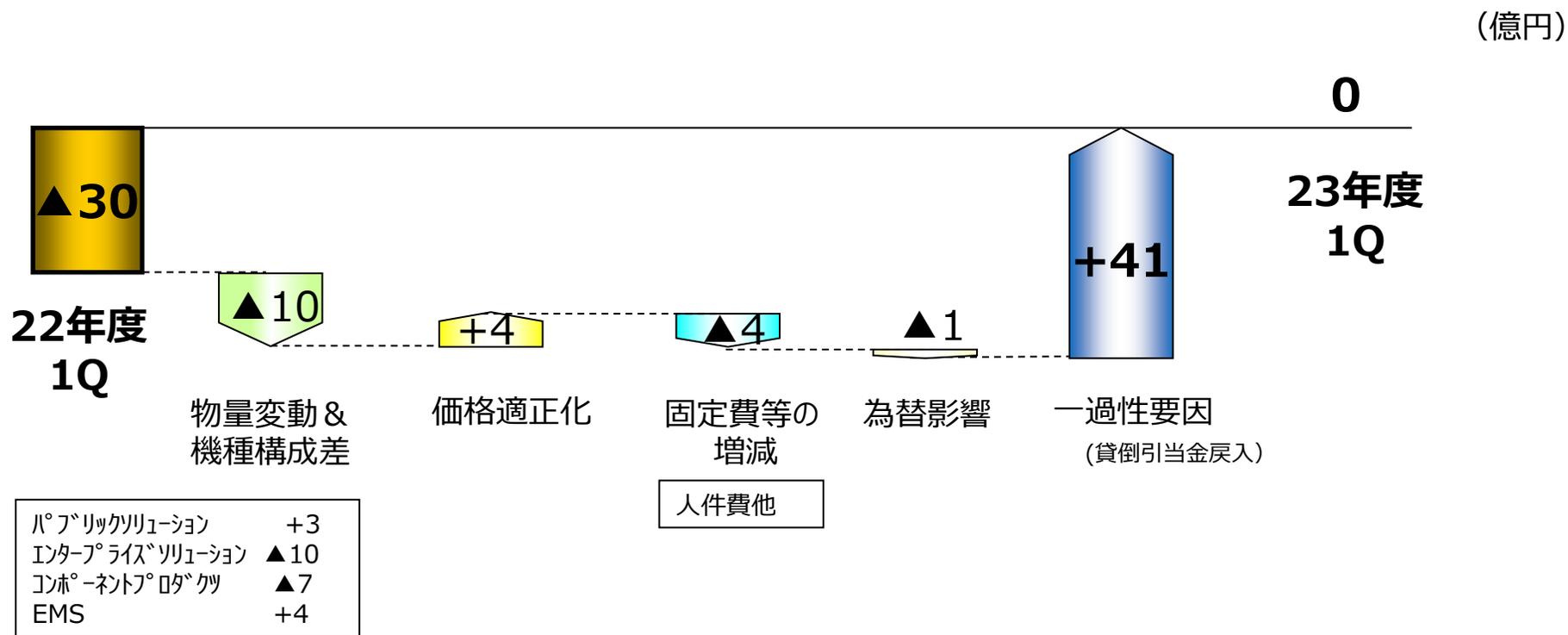
- 前年比 増収、貸倒引当金の戻入もあり前年比増益。
- 売上高は部材不足による生産減影響からの回復などにより増収。
- 営業利益は前期調達部材のコスト増影響や人件費増があるものの、上記の一過性要因もあり増益。

(単位：億円)	23年度 実績	22年度 実績	前年比
売上高	815	781	+34
営業損益	0	△30	+30
経常損益	△3	△31	+28
(親会社株主に帰属する) 四半期純損益	△2	△32	+30
USD平均レート (円)	137.4	129.6	+7.8
EUR平均レート (円)	149.5	138.1	+11.4

# 2023年度 第1四半期 セグメント別売上高/営業利益

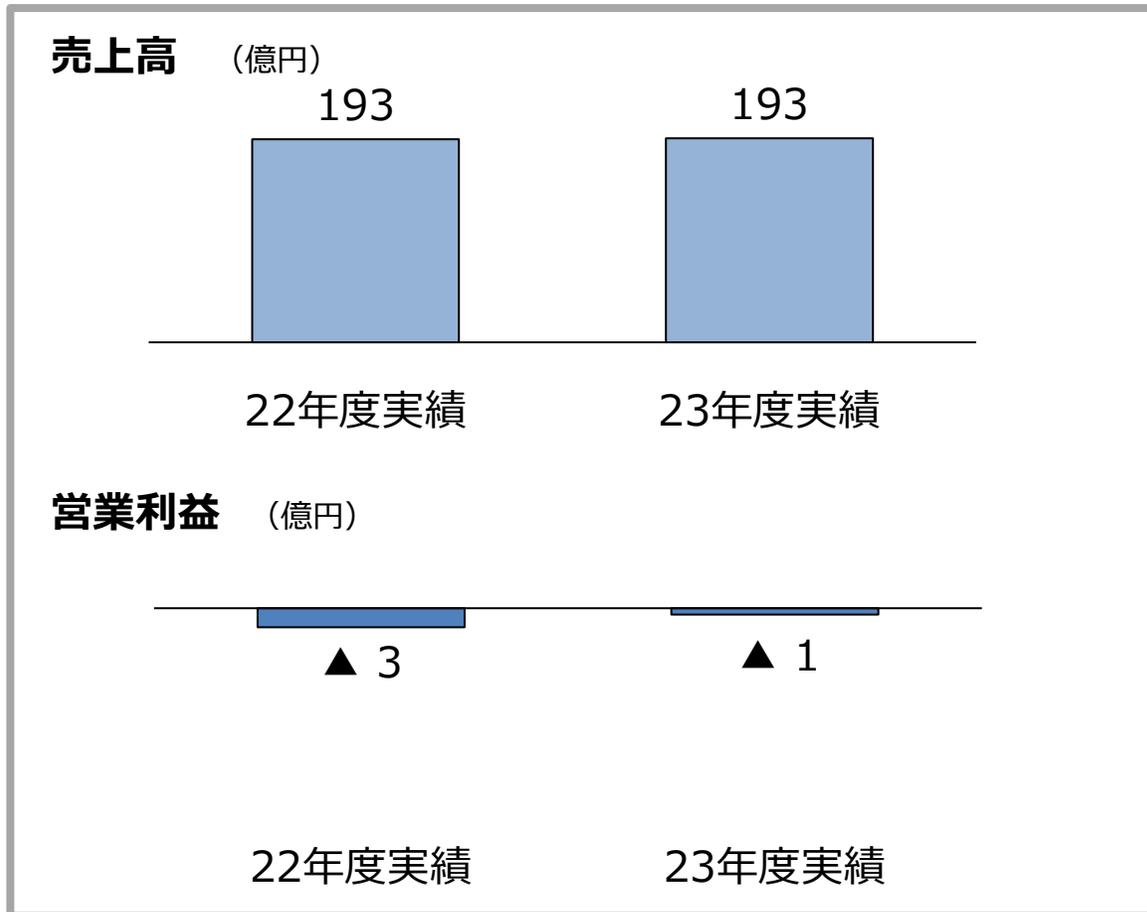
(単位：億円)		23年度 実績	22年度 実績	前年比
パブリックソリューション	売上高	193	193	±0
	営業利益	△1	△3	+2
エンタープライズソリューション	売上高	274	233	+41
	営業利益	19	△16	+35
コンポーネント プロダクツ	売上高	170	192	△22
	営業利益	△8	△1	△7
EMS	売上高	177	162	+15
	営業利益	6	1	+5
その他	売上高	1	1	±0
	営業利益	△1	1	△2
消去・本社費	営業利益	△14	△12	△2
<b>連結合計</b>	<b>売上高</b>	<b>815</b>	<b>781</b>	<b>+34</b>
	<b>営業利益</b>	<b>0</b>	<b>△30</b>	<b>+30</b>

- エンタープライズソリューションは部材不足による生産減影響からの回復や工事・保守の物量増などプラス面があるものの、ハード製品の部材コスト増影響によりマイナス。
- EMSは部材不足による生産減影響からの回復など物量増でプラス。
- 中国ATMの債権に対する貸倒引当金を戻入。



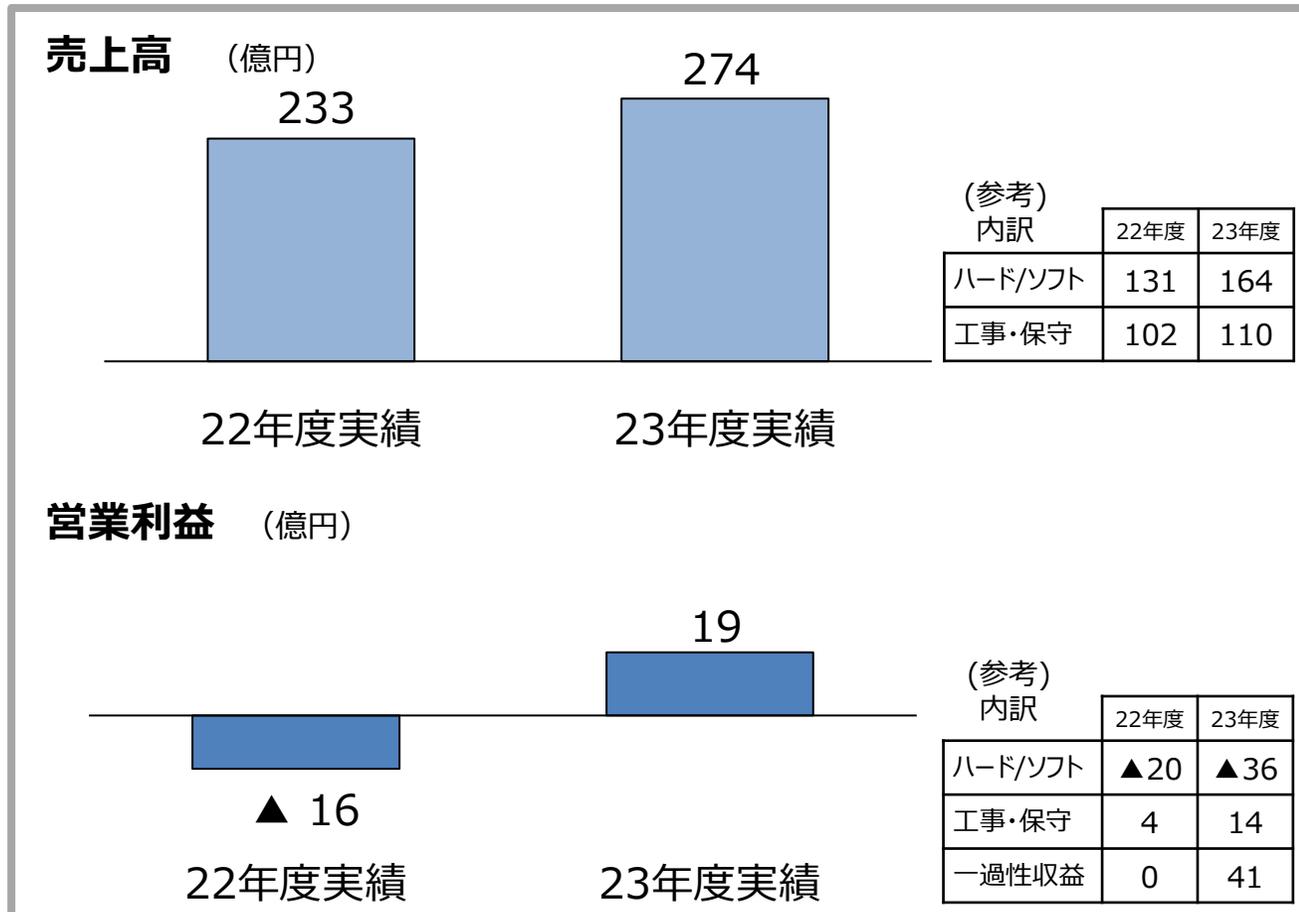
## パブリックソリューション

- 防衛向案件は増加、一方で通信キャリア向け案件の減少もあり、全体では売上、利益とも前年並。



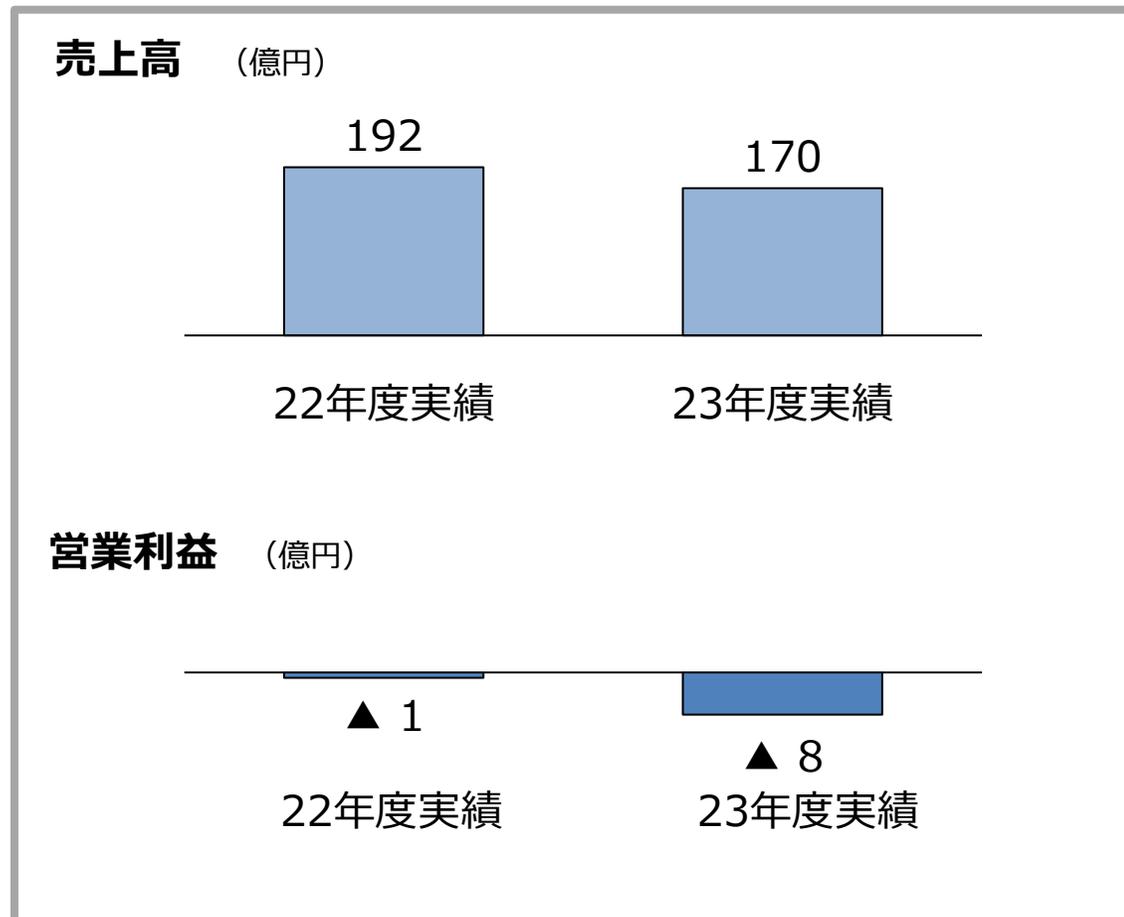
## エンタープライズソリューション

- 部材不足による生産減影響の改善などにより増収。
- 営業利益はハード製品で部材コスト増影響があったものの、工事・保守で一部カバー。貸倒引当金の戻入もあり増益。



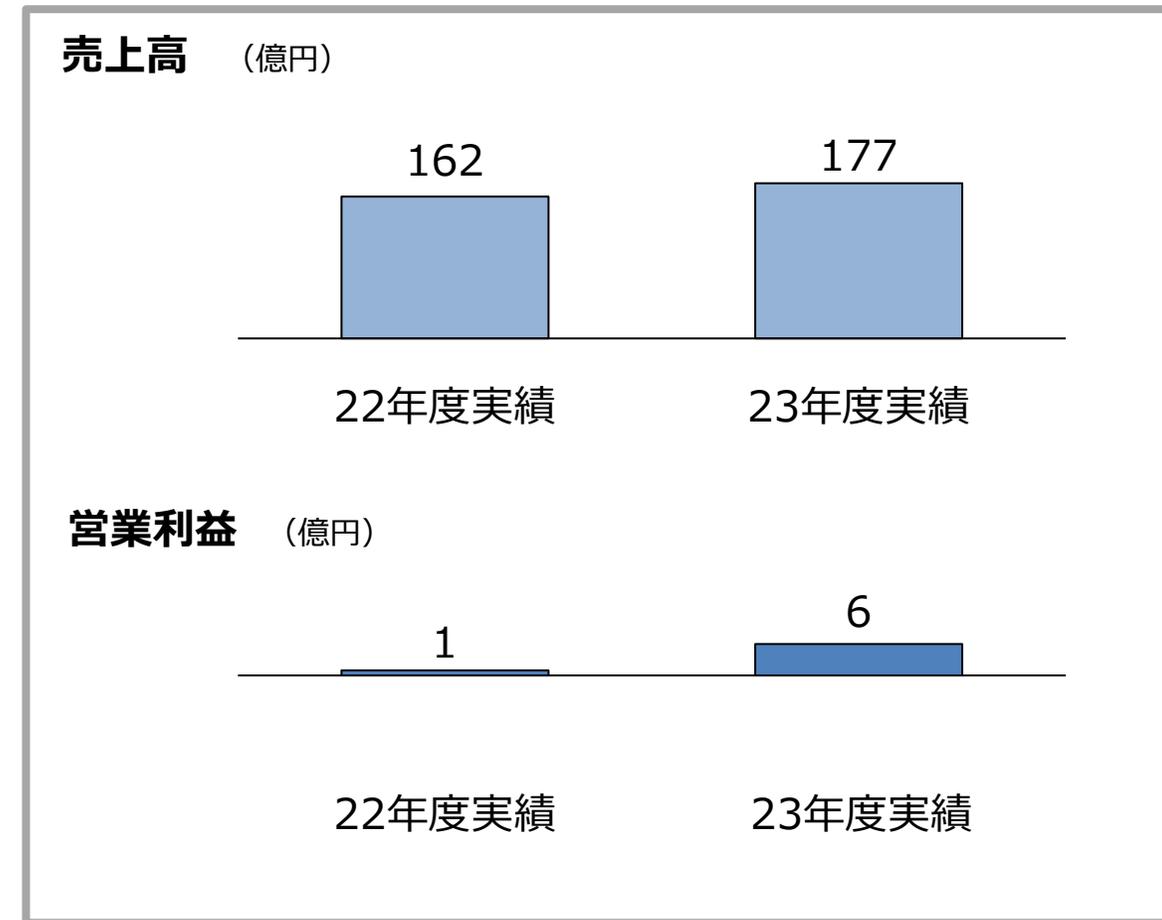
## コンポーネントプロダクツ

- IoTはサプライチェーン影響の改善等によりプラスも、プリンターは前期の値上前の駆け込み需要の反動もあり、全体では減収減益。



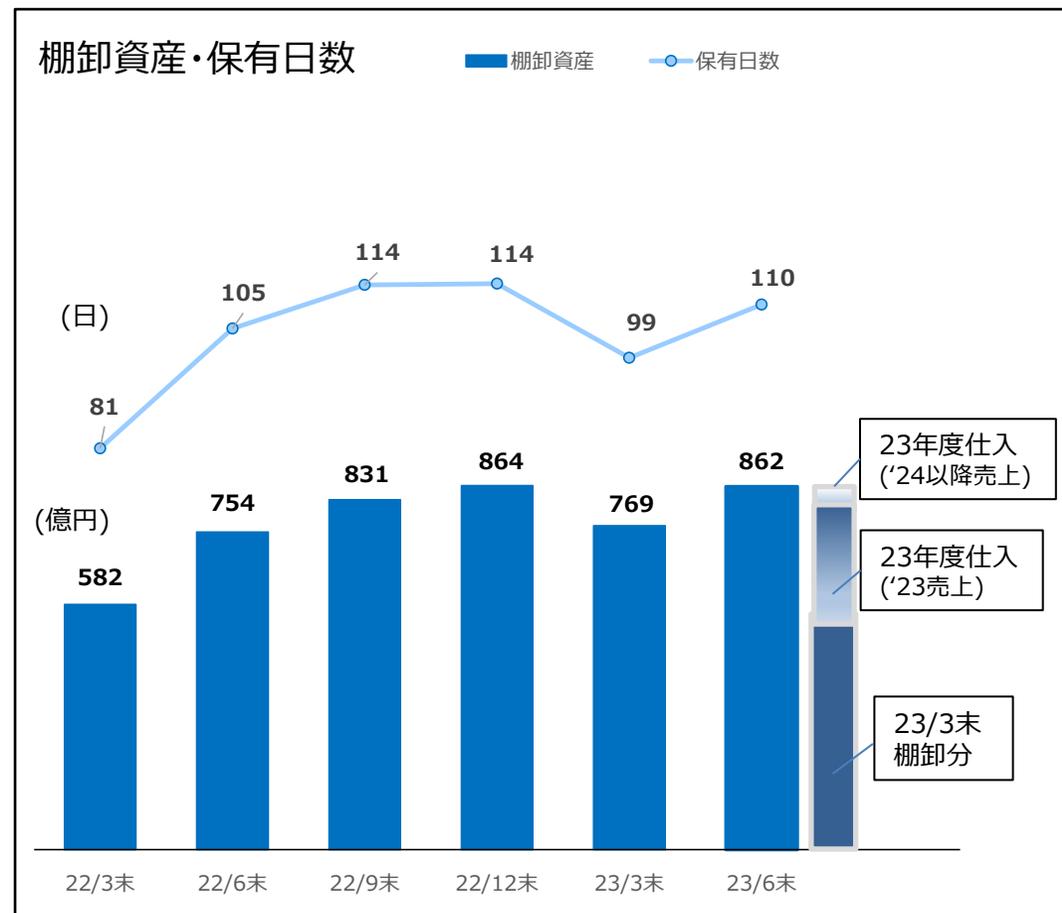
## EMS

- サプライチェーン影響の改善もあり、増収増益。国内市場を中心としており、需要も概ね堅調。



- 棚卸資産は2Q以降売上増もあり3月末比増加も、正常化に向けて前年同月比の増加額は減少。
- 自己資本比率は0.6ポイント増。

(単位：億円)	23年 6月	23年 3月	前年度末比
流動資産	2,205	2,302	△97
固定資産	1,660	1,602	+58
資産の部	3,865	3,904	△39
流動負債	2,015	2,053	△38
固定負債	844	859	△15
負債の部	2,859	2,911	△52
自己資本	1,004	991	+13
その他	2	2	±0
純資産	1,005	993	+12
負債及び純資産合計	3,865	3,904	△39
自己資本比率(%)	26.0	25.4	+0.6
DEレシオ(倍)	1.2	1.2	±0



- 固定資産廃棄損として約10億計上 (特定顧客向サービス用資産、新システムへの切り替えによる)。

## 2023年度 第1四半期 キャッシュフローの概要

- 営業キャッシュフローは債権回収など運転資本減により前年比良化。
- 投資キャッシュフローはエンタープライズソリューションのサービス事業強化の投資など。

(単位：億円)	23年度 実績	22年度 実績	前年比
I 営業キャッシュフロー	22	0	+22
II 投資キャッシュフロー	△59	△49	△10
フリー・キャッシュフロー(I + II)	△37	△49	+12
III 財務キャッシュフロー	△38	43	△81
現金および現金同等物の残高	308	342	△34
固定資産取得額	57	39	+18
減価償却費	32	29	+3

# 2023年度 通期業績予想の修正

- 2023年6月20日公表の中国子会社の訴訟に関する影響額を精査し、1Q決算に反映。あわせて2023年5月10日公表の通期業績予想を上方修正。

(単位：億円)			23年度今回予想	23年度前回予想	前回比	22年度実績	前年差
パブリックソリューション	売上高		980	980	±0	957	+23
	営業利益		40	40	±0	34	+6
エンタープライズソリューション	売上高		1,780	1,780	±0	1,129	+651
	営業利益		155	115	+40	15	+140
コンポーネントプロダクツ	売上高		810	810	±0	846	△36
	営業利益		20	20	±0	16	+4
EMS	売上高		830	830	±0	753	+77
	営業利益		25	25	±0	23	+2
その他	売上高		0	0	±0	5	△5
	営業利益		△15	△15	±0	4	△19
消去・本社費	営業利益		△75	△75	±0	△68	△7
連結合計	売上高		<b>4,400</b>	<b>4,400</b>	<b>±0</b>	<b>3,691</b>	<b>+709</b>
	営業利益		<b>150</b>	<b>110</b>	<b>+40</b>	<b>24</b>	<b>+126</b>
	経常利益		<b>125</b>	<b>85</b>	<b>+40</b>	<b>△3</b>	<b>+128</b>
	当期純利益		<b>80</b>	<b>40</b>	<b>+40</b>	<b>△28</b>	<b>+108</b>

2Q~4Q  
前提為替レート  
USD : 141円  
EUR : 153円

# (補足) セグメント別売上高/営業利益 (四半期別推移)

(単位：億円)		22年度					23年度
		1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q
パブリック ソリューション	売上高	193	198	228	337	957	193
	営業利益	△3	△3	0	40	34	△1
エンタープライズ ソリューション	売上高	233	245	297	354	1,129	274
	営業利益	△16	△11	1	41	15	19
コンポーネント プロダクツ	売上高	192	218	214	223	846	170
	営業利益	△1	16	△1	2	16	△8
E M S	売上高	162	185	198	209	753	177
	営業利益	1	4	9	9	23	6
その他	売上高	1	1	2	1	5	1
	営業利益	1	1	1	1	4	△1
消去・本社費	営業利益	△12	△17	△18	△22	△68	△14
連結合計	売上高	<b>781</b>	<b>846</b>	<b>938</b>	<b>1,125</b>	<b>3,691</b>	<b>815</b>
	営業利益	<b>△30</b>	<b>△10</b>	<b>△8</b>	<b>72</b>	<b>24</b>	<b>0</b>

# (補足) 各セグメントの主な製品およびサービス

<b>パブリック ソリューション</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 道路（ETC/VICS）、航空管制、防災、消防</li><li>• 中央官庁業務システム、政府統計システム</li><li>• 防衛システム（水中音響/情報）</li><li>• 航空機器</li><li>• インフラモニタリング</li><li>• キャリアネットワーク、映像配信、5G・ローカル5G</li></ul>
<b>エンタープライズ ソリューション</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>• ATM、現金処理機</li><li>• 営業店端末、予約発券端末、チェックイン端末</li><li>• ATM監視・運用サービス</li><li>• 金融営業店システム、事務集中システム</li><li>• 鉄道発券システム、空港チェックインシステム</li><li>• 製造システム（ERP/IoT）</li><li>• 工事・保守サービス</li></ul>
<b>コンポーネント プロダクツ</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>• AIエッジコンピューター、センサー、IoT NW</li><li>• PBX、ビジネスホン、コンタクトセンター</li><li>• クラウドサービス</li><li>• LEDプリンター</li></ul>
<b>EMS</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 設計・生産受託サービス</li><li>• プリント配線板</li></ul>

※本資料における業績予想および事業計画等は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断される一定の前提に基づいております。したがって、実際の業績は様々な要因により、これらと異なる可能性があることをご承知おきください。

※億円単位の数値の表示方法について：

各項目の数値は、それぞれの数値の億円未満を四捨五入して表示しています。また増減については、億円単位の数値を元に計算しています。